

ぼくのお父さん

諸塚小学校 3年 きくち あやと

僕のお父さんは、山しをしています。ぼくは、山しは、何をしている仕事なのかが気になりました。そこで教科書を見ると、下草がりのことが書かれていました。そこで、下草がりについて調べることにしました。

下草がりが、どんなしごとかと言うと、下草がりはきかいで草を切る仕事です。良い木を育てるには大事な仕事です。

まず、お父さんに、草がりをする時の工夫について話を聞きました。「あみをかぶること。」

と言っていました。理由を聞くと、

「葉っぱが顔に飛んでこないようにするため」と言っていました。

お父さんにもう一つ、下草がりの工夫を聞いてみると

「他の人とは、はなれて草かりをするよ。となりの人にけがをさせてしまうからね。」

と言っていました。

ぼくは、下草がりをする時に、人とはなれてするということは知りませんでした。ペアの人と近くでいっしょにするとおもうので、おどろきました。よい木を育てるために、くふうをしながらがんばっていて、お父さんはすごいと思いました。

